

報道関係各位

CTC エスピー株式会社

## CTCSP、米 Doppel と国内初の販売代理店契約を締結 フィッシングなどの攻撃に対するソーシャルエンジニアリング対策を提供

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(略称:CTC)のグループ会社で、IT 関連機器やソフトウェアの販売を行う CTC エスピー株式会社(代表取締役社長:上 克也、本社:東京都港区、略称:CTCSP)は、米 Doppel, Inc.(本社:米国カリフォルニア州コビナ、CEO & Co-Founder:Kevin Tian)と国内初の販売代理店契約を締結し、AI の進化により巧妙化するフィッシングやなりすまし攻撃に対応する、AI を前提としたソーシャルエンジニアリング防御プラットフォーム「Doppel(ドッペル)」の提供を開始します。

金融サービスやEC、会員制サイトなど、Web やアプリを通じて顧客と接点を持つ企業を中心に展開します。

近年、生成 AI の普及を背景にフィッシングや電話・SNS 詐欺といった、人の信頼や心理を狙う攻撃が深刻化しています。メール単体の「点」の攻撃から、SNS や広告、メッセージアプリなど複数の経路を組み合わせた「面」の攻撃へと変化しており、従来の経路別対策では対応が困難です。こうした攻撃は、個人の注意不足による問題ではなく、事業継続やブランドに影響を及ぼす経営リスクとなっています。

Doppel は、フィッシングなどの脅威に対し、不正な送信や誘導、詐欺サイトやなりすましアカウントによる被害の拡大までを監視・可視化し、これらの削除・無効化までの対応を支援します。

Web サイトや SNS、SMS、アプリストア、ダークウェブなどを Digital Risk Protection (DRP) ソリューションにより、継続的に監視し、検知される兆候を AI が関連付けて分析(相関分析)することで、攻撃の全体像を可視化します。

検知した脅威は、削除や閉鎖に必要なエビデンスを AI が自動で収集・整理し、SNS 事業者や通信事業者などへの申請手続きを行います。従来の人手による分析や証拠収集、申請書作成など、一連の流れを効率化し、運用の人員コストを削減すると共に、申請時の不備や差し戻しのリスクを低減します。

さらに、メールについても AI が内容を自動で確認し、不審なメールの危険なリンクや発信元まで遡って特定して対処します。Email Security ソリューションにより、再攻撃を防止します。

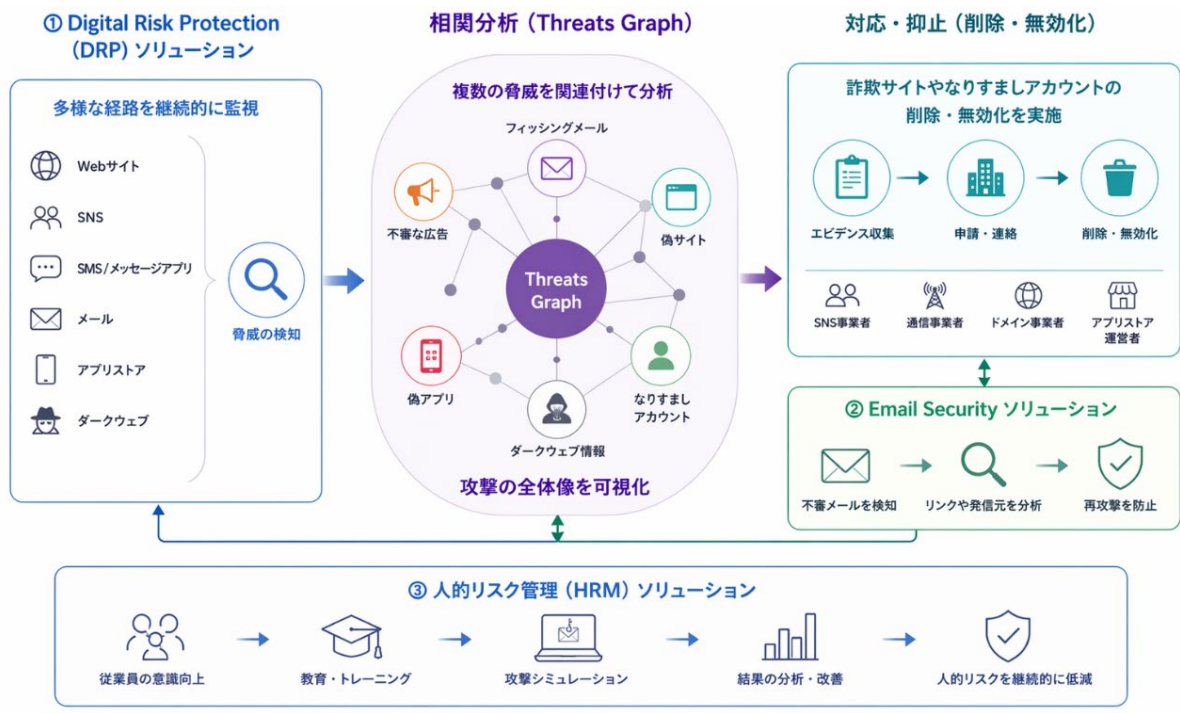
また、実際の高度な攻撃をテンプレートにした従業員向け訓練や教育に加え、音声通話や SMS などの攻撃を再現するシミュレーションを組み合わせた人的リスク管理(HRM)ソリューションも提供します。技術的な対策と、人の行動(誤認・判断ミス)への対策の両面で、継続的な防御を支援します。

CTC グループは、本サービスにおける販売代理店としての役割を担うと共に、導入から運用フェーズにわたる設定支援など、お客様のニーズに応じた付加価値サービスを提供します。

また、今回の国内初となる販売代理店契約は、海外のスタートアップとのパートナーシップを構築し、ビジネス共創につなげる取り組み「NAPP(North America Partnership Program)<sup>※1</sup>」の一環として、米ベンチャーキャピタル Sozo Ventures 社との協業により実現したものです。

今後も CTC グループは、海外の最先端ソリューションを発掘・評価し、日本企業へ届けるグローバルディスカバリー活動を通じて、企業のデジタル信頼性向上に貢献していきます。

■Doppel ソーシャルエンジニアリング防御プラットフォーム イメージ



■Doppel 製品ページ

<https://www.ctcsp.co.jp/products/doppel/>

なお、今回の発表にあたり、以下のコメントをいただいております。

CTCSPとのパートナーシップは、Doppelのグローバル展開における重要なマイルストーンです。日本市場の企業は、AIを活用したフィッシングやなりすまし攻撃の増加に対応するため、より高度で世界水準のソーシャルエンジニアリング対策を必要としています。AIネイティブなプラットフォームであるDoppelは、AIに対抗するためにAIを活用して設計されており、ソーシャルエンジニアリング攻撃チェーン全体における脅威を無力化します。

Doppel, Inc.  
CEO 兼共同創業者、Kevin Tian

Doppelは、サイバーセキュリティの中でも最も困難な課題の一つであるソーシャルエンジニアリングに対して、非常に高い効果を持ち、かつ今後一層重要性が増すプロダクトを展開しています。既に多くの「フォーチュン100」企業に採用されており、急成長を遂げているサイバーセキュリティ企業の一つとなっています。

また、CTCにはパートナーとして多大なるご支援を賜り、日本有数の大企業をDoppelの顧客として迎えるにあたりご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。日本はアジアへのゲートウェイであり、これまで同地域で成功してきた当社の他の投資先企業と同様に、Doppelもここでトップクラスの企業と連携しながら、ソーシャルエンジニアリング対策のリーダーへと成長していくことを期待しています。

Sozo Ventures, L.L.C.  
Managing Director ロブ・フリーレン

- ※1 NAPP(North America Partnership Program):海外のスタートアップとより強固なパートナーシップを構築することで、ビジネスの共創につなげる取り組み。CTCの米国の事業会社 ITOCHU Techno-Solutions America, Inc.や海外のベンチャーキャピタルと協業して2023年4月から開始しています。
- ※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
広報部  
E-mail:[press@ctc-g.co.jp](mailto:press@ctc-g.co.jp)